



日本骨髄バンクの現状（2019年2月末現在）

	1月	2月	現在数	累計数
ドナー登録者数	2,888	11,662	503,883	773,023
患者登録者数	239	207	2,121	55,957
移植例数	86	119	—	22,909

■2月年代別ドナー登録者数（現在数）

10代	4,839人
20代	75,910人
30代	137,719人
40代	215,982人
50代	69,433人

■2月の20歳未満の登録者 594人

■2月の区分別ドナー登録者数：献血ルーム／8,154人、献血併行型集団登録会／2,842人、集団登録会／50人、その他／616人

■2月末までの末梢血幹細胞移植（PBSCT）累計数：666件

注）2018年11月から、海外患者については国内患者への対応に準じ、1年以上ドナーコーディネートを進めていない患者を取消しているため、患者登録現在数が前月比で735人減少しています。

注）数値は速報値のため訂正されることがあります。

1 ドナー登録者数急増、50万人到達

マスコミ報道により、2月は多方面で骨髄バンクへの関心が高まり、ドナー登録者数は50万人に到達しました。月次で1万人超を記録した例は過去になく、ドナー登録者数が極めて少数であった地域も大幅に伸びるなど、全国的にドナー登録者数を押し上げる結果となりました。その一方で、若年層の増加には必ずしもつながっていないことが示されています。骨髄バンクへの関心が一過性のものに終わらないよう、関係者の皆さまの一層のご協力とともに、今後も当法人は普及啓発に努めてまいります。

2 「チャンス」改訂版2019発行

ドナー登録のしおり「チャンス」の改訂版を作成しました。今回は、ドナーリンパ球輸注（移植後、患者さんの病気が再発した時、ドナーのリンパ球を輸血することにより治療に役立てること）の説明を追加するなど、現状に即して改訂しています。新しい「チャンス」は4月から使用開始予定でしたが、2月以降のドナー登録希望者の急増に伴い、すでに旧版の在庫がなくなったため、一部の登録会場や登録受付窓口にて前倒しで改訂版の使用を開始しています。したがって、年度内であっても旧版がなくなり次第、順次使用してください。

都道府県等の自治体および保健所等登録受付窓口、骨髄バンク地区普及広報委員・説明員、ボランティア団体の皆さまには、参考用として「チャンス」改訂版と新旧対照表を各1部ずつ今号に同封しています。なお、4月以降は、新旧版の混在を避けるため、速やかに旧版を廃棄していただきますようお願いいたします。

3 絵本朗読会『春ちゃんは元気です』学生ナレーターが卒業式で表彰

骨髄移植推進キャンペーンミュージカル『明日への扉』を公演する学校法人滋慶学園グループ系列校の卒業式が3月4日～21日に福岡、大阪、東京、仙台、札幌、名古屋の順で行われます。この卒業式で、絵本朗読会の学生ナレーターで活躍した生徒の皆さんが、福岡スクールオブミュージック&ダンス専門学校で学校長賞を受賞、大阪ダンス&アクターズ専門学校で総長賞とJESCA奨励賞をダブル受賞の栄誉に輝きました。『明日への扉』は、同グループ系列校・大阪スクールオブミュージック専門学校による1994年初演を皮切りに毎年上演され、来場者数は18万人を超えています。公演やご寄付を通じて長年にわたり骨髄バンクを支援していただいています。各卒業式会場で卒業生から寄付金の贈呈があり、当法人から卒業生の代表に感謝状をお渡しします。



4 ドナー助成制度、新たに4市区町で導入

新たに4市区町で、骨髄バンクを通じて骨髄または末梢血幹細胞を提供したドナーのための助成制度が導入されました。全国で441市区町村になります。

助成内容は各自治体によって異なりますので、直接お問い合わせください。当法人ホームページに問い合わせ一覧を掲載しています。

◇HOME > ドナー登録されている方へ > 骨髄・末梢血幹細胞の提供までの流れ > 提供ドナー助成制度を導入している地方自治体・民間団体

■新たに導入した自治体

○板橋区 ○清瀬市（以上東京都） ○須崎市 ○中土佐町（以上高知県、いずれも4月1日導入予定）

5 非血縁者間末梢血幹細胞採取施設の認定

下記の施設が新たに非血縁者間末梢血幹細胞採取施設として認定されました。

○ 京都大学医学部附属病院

これにより末梢血幹細胞採取認定施設数は114施設となりました。新規認定施設は、当法人ホームページでもご覧いただけます。

◇HOME > ドナー登録されている方へ > 面談施設一覧

6 当法人の会議等開催予定

傍聴をご希望の方は、事前に当法人総務部までお申し込みください（非公開除く）。

会議名	公開・非公開	開催予定
通常理事会	公開・一部非公開	3月18日（月）18時～20時 廣瀬第2ビル地下会議室
医療委員会	公開・一部非公開	3月21日（木・祝）13時～16時 廣瀬第2ビル地下会議室

コーディネーター関係者のコーナー

以下は、医師およびコーディネーターの皆さまを対象としています。

7 2019年度非血縁者間骨髄および末梢血幹細胞採取施設の年次調査の結果報告

<認定施設の医師の方へ>

2019年度非血縁者間骨髄・末梢血幹細胞採取施設の年次調査結果について、下記の通りご報告します。

- 骨髄採取施設
 - ：調査対象 189施設
 - 認定承認 188施設 保留 1施設（※採取免除認定施設は 6施設）
- 末梢血幹細胞採取施設
 - ：調査対象 110施設
 - 認定承認 110施設

8 第41回日本造血細胞移植学会総会開催

「第41回日本造血細胞移植学会総会」が3月7日（木）～9日（土）の3日間、大阪市で開催されました。当法人は「地区代表協力医師会議」を併催したほか、展示ブースでは、骨髄バン子ちゃんのイラストや動画・ACポスターなどを展示し、また「語りべ」「絵本朗読会」の提案を行いました。また、一般社団法人日本造血細胞移植学会主催「造血幹細胞移植推進事業フォーラム」は、350名を超えるご参加がありました。当法人は「コーディネート期間の短縮」の取組みと、患者HLA確認検査等における検査方法の変更（SBT-NGS法導入）について報告しました。フォーラム資料は後日学会ホームページに掲載されます。最終日の「市民公開講座 ～AYA世代のQOL～」は、クリニック라운の歓迎で明るい雰囲気の中でスタート。子どもから大人になる移行期（AYA世代）を小児でもなく成熟した成人でもない特別な世代として認識・理解したうえで特別な対応や配慮が必要なことを学び、考える機会となりました。

次回、第42回学会総会は、2020年3月5日（木）～7日（土）東京国際フォーラムで開催されます。

9 「ドナーのためのハンドブック」（第5版）発行【予告】

「ドナーのためのハンドブック」第5版を発行する予定です。今回は、文言等の修正や巻末の資料編のデータ更新のほか、新たに非血縁者間末梢血幹細胞提供ドナーの健康被害事例と入通院保険適用数を掲載します。なお、運用、配布時期等は、次号で改めてお知らせします。

10 「こちらをはじめにお読みください」の一部改訂

昨年3月1日からドナーの方へ適合通知と共に送付している資料「こちらをはじめにお読みください」の一部を改訂し、新たに感染症の説明に関して「中南米に滞在（居住）歴」の記載を追加しました。調整医師、コーディネーターの方には今号に同封しています。なお、改訂版の適合通知への同封開始時期は、改めて関係者にお知らせします。

11 委嘱状発行のお知らせ <調整医師の方へ>

調整医師の委嘱は2016年度より自動更新となりましたが、2019年度も手続きが必要で更新書類をご返送いただいた先生方には、3月より順次、委嘱状をお送りしています。更新書類をご返送いただいていない場合は、お早めに返送をお願いします。なお、異動先で引き続きご協力いただける先生方には異動後に手続き書類を郵送します。

12 GW期間の確認検査・再検査実施とSRL予約 <コーディネーターの方へ>

■確認検査

ドナーがすでにHLA（DNA）の情報を持っているか否かにより、対応が異なります。

- ① 一般血液検査およびHLAビーズ法の場合
4/26（金）、4/30（火）は実施可 5/1（水）、5/2（木）は実施不可
- ② 一般血液検査のみ・確認検査再検査
4/30（火）、5/1（水）、5/2（木）は実施可

■SRLの予約

4/26（金）の予約は4/19（金）14：00まで
4/30（火）、5/1（水）、5/2（木）、5/7（火）の予約は4/23（火）14：00のハルフト送信まで